

第1回 市長と話そう会（織姫の会）

日時 平成29年1月26日（木）

14:30～15:30

場所 TorattoriYa Mimasaka

参加者 織姫の会会員21名



市民の皆さまと市長が直接語り合う『市長と話そう会』第1回目は、女性起業家の集まりである織姫の会の皆さんとの意見交換でした。

まず、市長から市政についてお話いただき、その後、女性の視点から多数、活発な意見をいただきました。内容を抜粋して掲載しております。

《掲載にあたり、一部個人のプライバシーに関する部分などについては省略しております》

市長より ～女性が輝くまちを目指して～

①働き方の変革

早く帰れる働き方。新庁舎ではスタンディングデスクを入れたい。

打合せも早く終わらせる。

②プログラミング教育

ソフトバンクよりペッパーくんを小学校に105台導入。

他の機関と組んで、子どもに楽しくいい教育を目指している。

③基本政策について

すべての子どもに学ぶ機会と未来の可能性を。

ちょっとずれた時、失敗したときに軌道修正ができる社会を作りたい。

一人一人どういった立場の人も自分らしく幸せに生きる環境を。

③放課後児童クラブ

対象を全学年に拡充。

働く方のために、閉所時間も18:00を19:00に延長。

④夜間小児窓口

自分の体験より、H29.4 から夜間の窓口を365日にさせていただいた。

一つ一つ、悩み事を解決していきたい。

⑤子育て医療費

立て替え制度を止めて、申請手続きを簡素化した。

利便性を上げるということもあるが、立て替えるお金がない人も医療が受けれる環境を作る。

⑥子どもの貧困

子どもの貧困率16.3%。その中でもひとり親家庭は5割以上。

⑦教育

一人一台タブレット配付。 民間塾と組んだ授業。 プログラミング教育は3年目。

⑧こども図書館

図書館なのに本が見えないのが売り。

今の図書館と渡り廊下でつなぐ。

レストランではなく、フードコートを設置。

持ち込みOK（お金をかけない。アレルギー除去食、離乳食）

フードコートでも地産地消の食事の提供。（アレルギー対応）

図書館のスペースで365日講座を開きたい
(木工教室、子どものヘアアレンジ教室等)
皆さんの時間と得意技を貸してほしい。
日本にない、女性が輝く図書館にしたい。



⑨消滅可能性自治体

1700あるうちの896の自治体が消滅する可能性がある。
(20代、30代の女性が半以下になる自治体)
女性が生き生きと輝く街にする必要がある。

⑩みなさんに教えてほしい3つのこと

- ・もっと子そだてしやすい街を目指すにはどうすればよいか
- ・もっと柔軟な働き方ができる街を目指すにはどうすればよいか (起業も含めて)
- ・もっと女性が輝く街を目指すにはどうすればよいか。

意見交換

- (会員) 中小企業が利用できるインターネット環境等のインフラが整っているのか。
テレワーク等を取り入れ良い人材を確保するための条件整備をすることによって、
市外から人がくるのではないか。
- (市長) 武雄市全域、光回線が利用できる環境が整う予定。
武雄市では病児保育を実施していない。(市外の会員の方は驚かれる)
この任期中に必ず実施したいと思っている。
行政としてどのようなことができるかお聞かせいただきたい。
- (会員) インターネットを利用するという発想が少ない。
やり方を変えるための意識改革や、セミナー等、行政や商工会議所からのサポートを。
現役として働ける年齢も上がる。
- (会員) こども図書館ができると、今までのこども向けのスペースはどうなるのか。
- (市長) 閲覧コーナーとして活用。
DVDコーナーを学習スペースにしたい。福岡市のスタートアップカフェをイメージしている。学
生も刺激を受けるいい機会になる。図書館に機能を付加していくイメージ。
- (会員) 駐車場の整備は行われるのか。
- (市長) もちろん、駐車スペースは増やす予定だが、文化会館やゆめタウンの駐車場(競輪場側)も
利用していただきたい。駐車場が遠いと思わせないしかけが必要。
- (会員) 教育のICT以外で、生き抜く力を育む教育について。
IT化も大事であるが、人と人とのつながりも大事ではないか。
- (市長) タブレットを使い、読み書き算数を効率良く学習し、空いた時間をみんなで学び合う。
時間に使う。タブレットはツールの一つである。
自然体験は大変重要である。自然しかないという弱みを強みに変える。
地方こそが教育にふさわしいという強みになる。
- (会員) 市外の人が教育を体験する機会はあるのか。
- (市長) 移住ツアーを行っている。
- (会員) 自分の得意なことを放課後児童クラブ等で活かさないか。
- (市長) 民間にやってもらおう企画等を取り入れたい。
- (会員) ひとり親家庭への就業支援等はあるのか。
- (市長) 国の制度は職種が限られている。市では支援をできる職種の範囲を広げた。